

小山田久市長（右から2人目）にプロ入りへ向けた意気込みを報告した
中道佑哉（同3人目）＝4日、十和田市役所



「市民から愛される選手に」

ソフトB
育成2位

中道（八学）が十和田市長表敬

10月26日のドラフト会議でソフトバンクの育成2位指名を受け、十和田市初のプロ野球選手となる中道佑哉（同市出身、八学大）は4日、市役所に小山田久市長を訪ね、「少しでも早く一軍デビューし、市民やファンから愛される選手になれるよう頑張る」と抱負を語った。

同大の正村公弘監督らと共に訪問し、プロ入りへ向けた意気込みを報告。正村監督は中道について「150km/hの速球を投げる素質を持っていると思う。プロの食事とトレーニングで体を鍛えていければ」と潜在能力の高さを紹介した。
来月1月上旬から合同自主トレーニングに合流するという中道。取材では、目標

の選手に同じ左腕のソフトバンクの和田毅を挙げ、「自分の持ち味である変則的なフォーム、スライダーを生かしてプロの強打者を打ち取りたい」と力強く話した。
小山田市長は「十和田市初のプロ選手は大変うれしく、大いに期待している」とエールを送った。

（船渡拓）